

3月の都内経済状況







コンサルティング事業部

項目	天気図	コメント
現在の景気動向		3月の都内の景気は、一部に弱い動きも見られるが、緩やかに回復している。百貨店の売上は減少したが、スーパーとコンビニエンスストアの売上は増加した。乗用車販売は5ヵ月連続で前年を上回った。住宅着工は2ヵ月ぶりに前年を上回り、公共投資は4ヵ月連続で前年を下回った。輸出は5ヵ月連続で前年を上回った。有効求人倍率は3ヵ月ぶりに上昇した。工業生産(2月)は2ヵ月ぶりに前月から増加した。28年度下期の設備投資と経常利益は前年を上回る見込みとなっている(法人企業)。
今後の見通し(3ヵ月)		都内の景気は一部に弱い動きも見られるが、引き続き緩やかな回復が期待される。新興国の景気下振れや金融資本市場の変動、アメリカの政策動向、イギリスのEU離脱決定の影響などが今後のリスク要因となっている。
個人消費費	百貨店売上高	 百貨店売上高は、前年同月比▲0.6%と8ヵ月連続で前年を下回ったが、減少幅は前月から2.4ポイント縮小した(既存店ベース)。主要5品目のうち、雑貨は化粧品の好調などから引き続き増加したが、その他の衣料品、身のまわり品、家庭用品、食料品は、春物衣料の不振や生鮮食品の価格高騰などから前年を下回った。
	スーパー売上高	 スーパーの売上高は、前年同月比0.8%増と4ヵ月ぶりに前年を上回った(既存店ベース)。
	コンビニ売上(関東)	 関東地区のコンビニエンスストアの売上高は、前年同月比2.7%増と49ヵ月連続で前年を上回り、増加幅も前月から2.3ポイント拡大した(全店ベース)。麺類、中華まん等の暖かい商品の販売が好調だった。
	乗用車登録台数	 乗用車販売台数(軽を含む)は、前年同月比8.0%増と5ヵ月連続で前年を上回った。車種別では、普通車(同10.0%増)は3ヵ月連続、小型車(同14.2%増)は5ヵ月連続でそれぞれ前年を上回ったが、軽乗用車(同▲9.4%)は3ヵ月連続で前年を下回った。
住宅建設	 住宅着工戸数は、前年同月比9.5%増と2ヵ月ぶりに前年を上回った。利用関係別では、持家(同▲10.9%)は減少したが、分譲一戸建て(同10.9%増)、分譲マンション(同13.5%増)、貸家(同12.1%増)はいずれも増加した。	
公共投資	 公共工事請負金額は、前年同月比▲22.3%と4ヵ月連続で前年を下回った。発注者別では、市区町村(同276.0%増)は増加したが、国(同▲26.7%)、独立行政法人(同▲73.1%)、東京都(同▲35.4%)、地方公社(同▲59.3%)はいずれも減少した。	
貿易(東京税関管内)	 東京税関管内の輸出額は前年同月比19.8%増と5ヵ月連続で前年を上回った。主要地域別では、EU向け(同▲0.3%)は減少したが、アメリカ向け(同2.3%増)、中国向け(同28.0%増)、アジアNIEs向け(同20.4%増)、ASEAN向け(同29.0%増)が増加した。	
設備投資(法人企業)	 東京財務事務所「法人企業景気予測調査(1~3月調査)」によると、都内の法人企業(資本金1千万円以上)の28年度下期の設備投資計画額は、全規模が前年同期比7.7%増の増加見込みで、企業規模別では大企業が同7.9%増、中堅企業が同5.6%増、中小企業が同▲15.8%となっている。	
企業収益(法人企業)	 同上調査によると、都内の法人企業(同上)の28年度下期の経常損益は、全規模が前年同期比0.5%増の増益見込みで、企業規模別では大企業が同0.4%増、中堅企業が同2.3%増、中小企業が同10.0%増となっている。	
労働需給	 有効求人倍率(季調値)は2.06倍と前月から0.02ポイント上昇した。有効求人倍率の上昇は3ヵ月ぶり。先行指標とされる新規求人数は前年同月比3.1%増と5ヵ月連続で前年を上回った。南関東の完全失業率は2.7%で、前月から0.2ポイント低下した。完全失業率の改善は2ヵ月連続。	
企業倒産	 企業倒産件数は前年同月比▲1.2%と2ヵ月ぶりに前年を下回ったが、負債総額は同59.7%増と5ヵ月ぶりに前年を上回った。1~3月累計の倒産件数を業種別に見ると、全体が同1.6%増で、サービス業(同24.4%増)、卸売業(同10.3%増)、飲食店・宿泊業(同34.4%増)、不動産業(同18.8%増)などが増加し、建設業(同▲14.5%)、情報通信業(同▲2.1%)、製造業(同▲10.6%)、小売業(同▲16.3%)などが減少した。	
資金需要(銀行)	 銀行の都内向け貸出残高は前年同月比3.7%増と67ヵ月連続で前年を上回ったが、増加幅は前月から0.1ポイント縮小した。増加幅の縮小は7ヵ月ぶり。	

工業生産指数(季調値) ()は前年同月比%	工業在庫指数(季調値) ()は前年同月比%	消費者物価指数 ()は前年同月比%	(一〇メモ) 平成28年中の東京都人口の動き
12月 98.4 (0.3)	12月 125.8 (6.1)	1月 99.5 (0.1)	東京都が発表した「平成28年中の人口(推計)」によると、平成28年の1年間に東京都の総人口は114,704人増え、13,646,764人(1月1日、日本人と外国人合計)となった。増加は21年連続で、人口増加上位区域は、①世田谷区、②中央区、③板橋区、④杉並区、⑤港区の順。
1月 93.2 (▲0.7)	1月 118.5 (5.1)	2月 99.4 (▲0.3)	
2月 93.7 (▲1.9)	2月 114.1 (2.7)	3月 99.5 (▲0.4)	

*工業生産指数・在庫指数は2010年平均=100、消費者物価指数は2015年平均=100。*工業生産指数・在庫指数の前年同月比は、原数値による。

表は、都内経済の最新のデータを集めた当行独自のものです。なお、お天気マークは当部の判断です。

天気図表示の意味						
	晴れ	晴れ時々曇り	薄曇り	曇り	小雨	雨